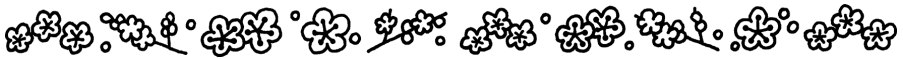
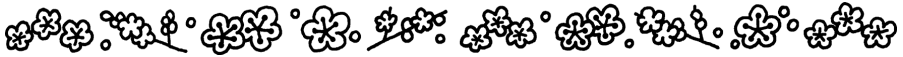


学年だより（うめぐみ）



《2月のねらい》自ら考え自信を持って行動し園生活を送る

《2月のうた》 さよならぼくたちのようちえん



《1月の様子》

「あけましておめでとうございます！」の元気な挨拶と共にスタートした1月。始業式での話を聞く姿勢と年長らしい返事は自信に満ち、他の学年の見本となりました。楽しかった冬休みの思い出を「おじいちゃんちに行ったよ」など嬉しそうに話し、思い思いの絵を描きました。朝は空気は冷たく、寒さも増していますが、園庭ではドロケイや縄跳びで存分に体を動かし遊んでいます。縄跳びでは、タイミングよく跳べるようになってきたり、友だちと数え合って楽しんでいました。少しずつ卒園や小学校を意識したり、期待が持てるよう関わっていき、交流会では実際の学校を知ることと安心感が持てるようにしていきたいと思いません。

★縫いさし～ナップザック～★

今回は、いよいよナップザックの袋の部分を縫い合わせました。厚みのあるキルティングの布を重ね、線の上を一針ずつ慎重に、丁寧に並縫いをしました。縫い終わると糸がほどけないようにばってん結びをすることも自分たちの力で上手に出来るようになりました。大きなナップザックなので縫う場所もいつもより多かったです。真剣な上場で最後まで集中して取り組んでいました。出来上がると「やっとなってきた！」と大きな達成感を味わいながら、「丈夫に出来たかな？」と念入りに確認する姿もありました。「小学校に行ったら使うんだ！」と早く使いたい喜びがあふれていた子どもたちでした。

★節分製作★

「2月3日は何の日？」と質問すると「豆まき！」「節分でしょ？」と答えていた子どもたち。みんなの周りにはどんな鬼がいるか考えてみると、泣き虫、忘れんぼ、好き嫌い…など色々な意見が出てきました。また、節分の由来にも関心を持ち、「ヒイラギとイワシも嫌いなんだよ！」と得意気に話す子もいました。それぞれ自分の中にいる鬼を追い出すため、まずはます作り。普段より大きな厚い紙でしたが、片手でしっかり押さえ何度もこすり折り目を付け、丁寧に中割れ折りをすることができました。お面作りでは、年長組は自分だけの鬼のツノを作りました。紙いっぱい三角形を描き、トラ柄や水玉、しま模様など個性あふれるツノが出来上がり、友だちと見せ合っていたうめ組さん。「鬼は外！」と掛け声の練習もバッチリ！豆まきの日を心待ちにしています。

★科学～とびだす絵をかこう！～★

今回は赤いセロハンのついた虫メガネや、赤と緑のセロハンを組み合わせたメガネを使って実験することに「何が始まるんだろう？」とドキドキワクワクの子どもたち。たてがみがフサフサのオシのライオンの絵を虫メガネで覗いてみると、「たてがみが無くなった！」「足の爪やひげも見えなくなったよ！」と驚くと共に、様々な発見を声にしていました。また、赤と緑のセロハンを組み合わせたメガネの実験では、イルカが泳いでいる絵をメガネで覗いてみると、「イルカが飛び出してきた！」と大興奮。そのままじっと見つめていると、だんだんイルカが近づいてきて見えることに「動いた！」と喜んだり、思わず触ってみようと手を伸ばす姿も見られました。その後はオレンジと緑のペンを使って自分たちでとびだす絵を描き、実際に飛び出して見ると「すごーい！」と言いながら喜びが溢れていました。今回の科学では今まで以上にたくさんの子どもたちが積極的に手を挙げて発見や考えを発表する姿にも子どもたちの成長を感じました。

★そよ風文庫★

「ふゆめがっしょうだん」「はたらくじょせつしゃケイティー」